

野宿考ジャーナル
8号（季刊）



『カマさんの野塾』
特別篇

保健師さん

編集後記



胸突き八丁、といったも山頂は見えませんが、8号をお届けします。前号からは三ヶ月経ちましたが、今号からは季刊体制にいたしました。内容ある役立つ紙面でありつつけるよう、心がける所存です。

自立支援実施計画もいよいよ実行に移されますが、雀の涙程度の予算で当然としてしまいます。ただひとつひとつの小さな積みかさねも大切になってきます。なにわ路情の発行も、みなさまのカンパや浄財を基盤にする未知の態勢に入ります。ますますのご支援賜りたく存じます。

(お)



編輯後記

『破産』の費用と生活への影響は？

借金問題は解決できます(連載3) 『破産』について・その2



大阪弁護士会野宿者問題プロジェクトチーム
弁護士 大橋さゆり



Q それじゃあ、『破産』の手続きをお願いしたいんですが、弁護士さんを頼んだら費用が高いでしょ？

A 弁護士費用について、今の金がない」という方のために、法律扶助協会というところで立替をする制度があります。自立支援センターや大阪城仮設一時避難所等の入所者の方には、扶助制度が利用できるようになっています。

利用される方は、債権者数に応じて、約12万円から18万円程度の弁護士費用を扶助協会から借りる形になり、これを原則として、月5000円ずつで返済していただくことになっています。ただ、センターから自立するための資金を貯めていたものが何より優先ですから、扶助協会では事情を聞いて返済を待ってくれます。担当になった弁護士とよく相談してください。

Q 何とかかなりそうですね。でも、いい話ばかりなんですが、『破産』をしたら何か生活が不自由になったりしないんですか。

A 割と誤解している人も多いんですが、『破産』

をしたからといって選挙権がなくなったりすることはありません。簡単に、生活に影響のありそうなことを並べますと、

① サラ金やクレジットは当面、年や10年は利用できません。でも、破産をしなくても借金が返せない限り同じことです。から、仕方のないことです。

② 官報という国の出している刊行物に、破産宣告のときと免責許可の出したときに住所氏名が載ります。これを見ているヤミ金業者から、お金を貸します」というダイレクト

メールがたくさん来るそうです。

③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

いい話は2回はあります。

あいらん地域で、旧南海天王寺線が、堺筋と交わる角に、いつも近所の高齢者が集まる小さなスペース、釜ヶ崎エッグスがあります。そのほとんどが、脱野宿の人たちの安心の住処であるサポーターハウスに入居者のみなさんです。駐車場だった建物を、少しだけ改造して、机を置いて、クーラーや冷蔵庫のある十畳くらいのスペースは、サポーターハウスのフレンドのオーナーの好意で使用できます。このスペースから、手作りの紙芝居劇団が生まれました。

Aさん フレンド入居者で野球部をやっているんですが、入居3年にして隣のエッグスには来たことがなかったんです。ところが試合にエッグスの常連さんたちが来てくれて、つい最近ですが、私も自然と出入りするようになったんですね。そしてここに来る野球部員が増えてきました。じゃあ、皆で何かしようじゃあないか、お茶だけ飲んで無駄話して帰るだけではね。そこでカマナビのNさんが、訪問先のフィリピンでスラムの子供たちにみせる紙芝居の話をして、こ

れならそれだったらうちも精一杯やるうじやないかと、という話になったわけですね。

Bさん で紙芝居の桃太郎が生まれました。ま作りやすいんですね、話が。鬼がおって桃太郎がおってね、犬がおって雉がおって猿がおるから。でもかぐや姫とかねえ。浦島太郎だってねえ、亀と浦島とお姫様が、それくらいでしょ。

Cさん みんなでやるうって十何人ですから、役割を決めるの、それからセリフ覚えが大変でしたよ。またそんなに登場人物はいらないでしょ。だから効果音づくりなんかもNさんから勧められてね。

Bさん わずか1ヶ月くらいで準備、練習しました。名画の模写がうまくいったとかで、場面を描いてももらったり、釜で30年手先の仕事なら何でもしますよ、大工から、ということで紙芝居用の見事な箱を作り、ペンキ塗りなら任してよ、というペンキ職人さんに箱塗りをやってみたり、ぼくなんで水商売経験あるから口はうまいんで、とか。

こんな予算でほんまに自立支援できるんかいな



ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法に基づき、昨年7月末にホームレスの自立の支援等に関する基本方針(以下、基本方針という)が策定され、雇用、住宅、保健医療、福祉等にわたる諸施策を推進するための方針が示された。そして地方公共団体が必要があるとする場合、この基本方針等に即し、ホームレス支援の実施計画を策定することになっている。

今年三月四月、大阪府・大阪府はホームレス支援の実施計画」を策定し公表した。いったいどのくらいの予算で、どんなメニューなのか。

国のホームレス支援の今年度の予算は、総額三〇億一八〇〇万円(昨年年度・二七億三〇〇万円)。内容は、自立支援センター

ーに関わるホームレス自立支援事業が一一億八五〇〇万円、ホームレス問題に関する総合相談などの計画を企画し、相談活動を全国二〇チームで実施(二億一七〇〇万円)、シェルター事業(一〇カ所三二〇〇人分、四億四四〇〇万円)、ホームレス能力活用推進事業、都市雑業の職種の収集、提供、その職種の付与を行う(一八七〇万円)。

肝心の就業機会の確保では、自立支援センター入所に対する就職支援を行う職業相談員の配置、職業安定局：一億七六〇〇万円、ホームレス就業開拓推進員の配置、職業安定局：四二〇〇万円、日雇労働者等技能講習事業、職業安定局：四億九四〇〇万円)が大きな柱となっている。

英語の桃太郎の歌も披露しましたけど、これも大学の英文科出た彼のおかげだしね。

Aさん 僕は73才ですよ。きょうび、70、80でも足腰もばりばり。今日の主役の彼も76才、熱中でき行ったら、歳を忘れるくらい楽しい何かを自分が見つけて、今はやっている皆さんと顔を合わせるのが毎日の日課です。けれども楽しいですよ。僕らが色んなことを考えて作れますから。

Dさん 紙芝居してたら、10年前仕事してた頃を思い出します。それからぜんそくで苦労したけど、わしももう70、毎年桜の咲くのをみて、人間やる気持ちがあったら、ここからでもやっぱ花咲かそうって、老木にも一輪の花。そういう気持ちで頑張ってます。

どうなっていくかとても楽しみにしていますので頑張ってください。

Bさん 将来はね、何年先になるかわかんけど、紙芝居でなくて、われわれが劇団みたいなものを作ったらええなあと思っています。

Aさん 私はね、白波五人男」をやりたい感じがたない。笑

